2026年10月7日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
10,163万kW
13時30分、101,633 MW
（10エリア同時刻合計）

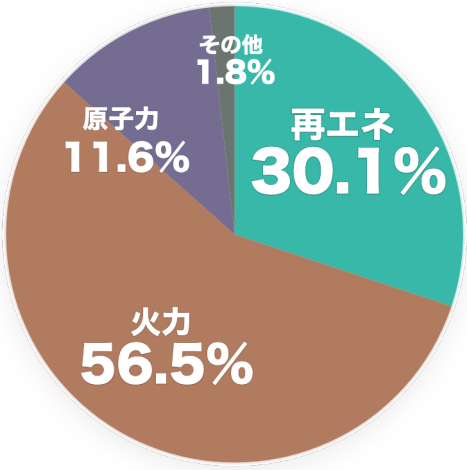
☀ 太陽光ピーク
4,933万kW
11時30分、49,332 MW
（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
269万kW
14時、2,693 MW

◇ 再エネ最大需要比
60.7%
12時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
91.7 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
87.8 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 45.4%

35.1 GWh

出力抑制量

13.6 GWh

最大: 東北 9.4 GWh

揚水・蓄電の充電

46.4 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、16:00に3,270万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで45.4%でした。
- 出力抑制は東北、中国、四国、九州。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**30.1%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**645 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**2,143 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**60.7%**	12時
出力抑制量	**13.6 GWh**	最大: 東北
揚水・蓄電の充電	**46.4 GWh**	発電構成比には含めない

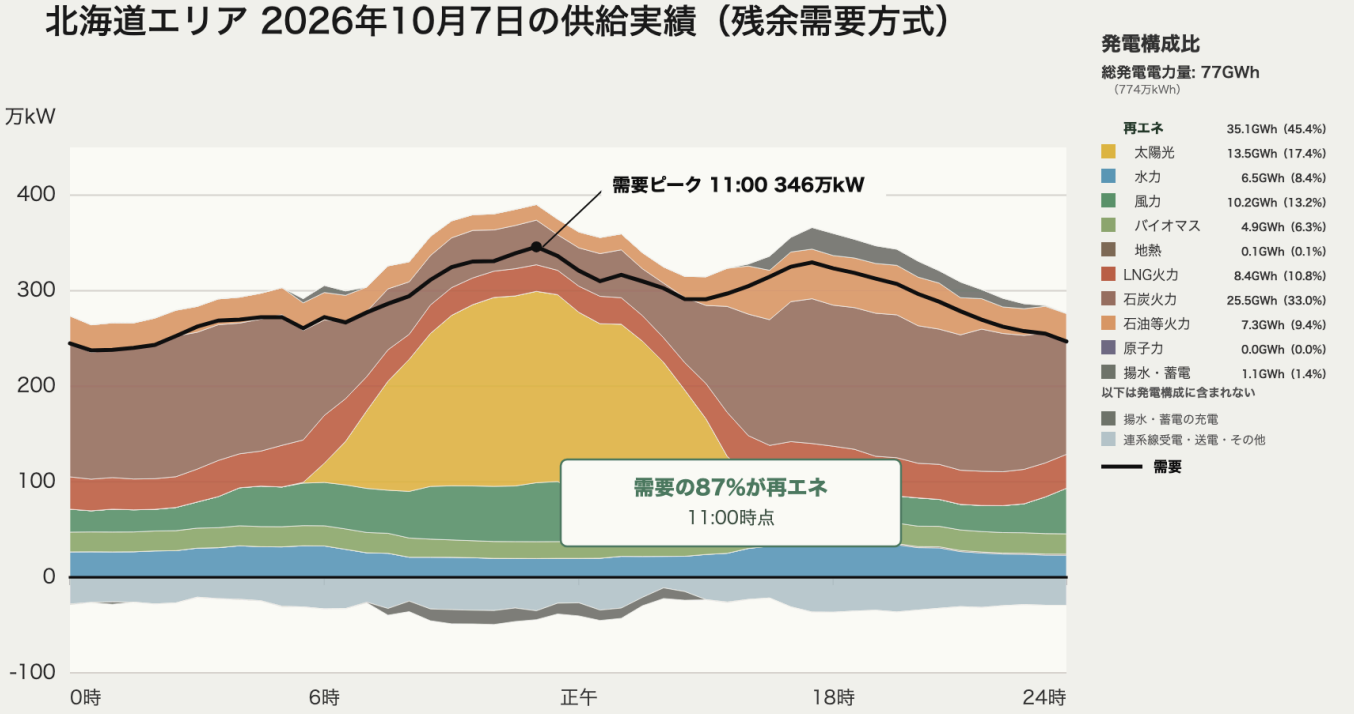
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**45.4%**	**35.1**	**0.0**	**送電 6.9**
東北	**40.7%**	**115**	**9.4**	**送電 87.8**
東京	**21.7%**	**129**	**0.0**	**受電 91.7**
中部	**39.1%**	**107**	**0.0**	**受電 75.0**
北陸	**28.7%**	**22.2**	**0.0**	**送電 10.5**
関西	**24.3%**	**75.7**	**0.0**	**受電 32.4**
中国	**23.8%**	**40.2**	**1.0**	**送電 20.3**
四国	**32.2%**	**29.7**	**1.4**	**送電 31.2**
九州	**36.2%**	**87.4**	**1.8**	**送電 23.3**
沖縄	**14.0%**	**3.3**	**0.0**	—

2026年10月7日の供給実績

北海道エリア

再エネ
35.1GWh
（発電電力量ベース45.4%）

北海道エリア 2026年10月7日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
77.3GWh

需要ピーク
11:00、346万kW

連系線・その他
6.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.9GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

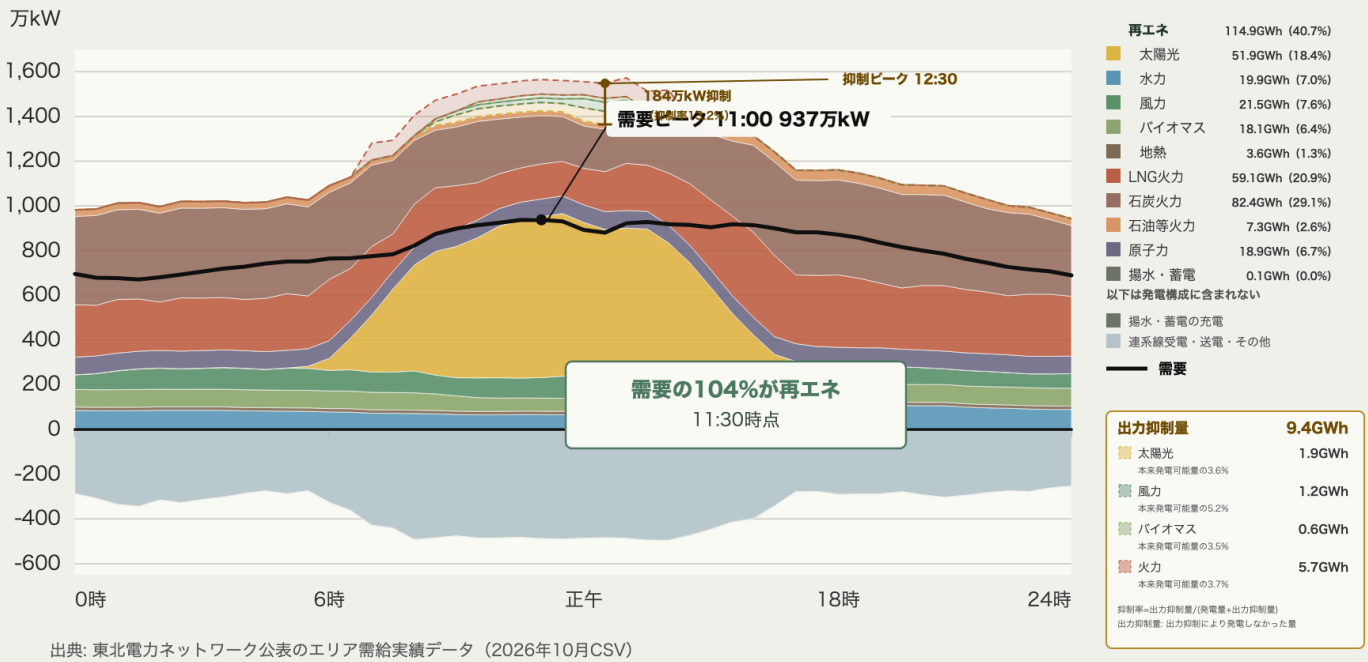
北海道は、太陽光ピーク200万kW、風力ピーク69万kWで、時間別の再エネ最大需要比は88.5%だった。

2026年10月7日の供給実績

東北エリア

再エネ
115.0GWh
（発電電力量ベース40.7%）

東北エリア 2026年10月7日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
282.7GWh

需要ピーク
11:00、937万kW

連系線・その他
87.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.1GWh

出力抑制
9.4GWh

概況

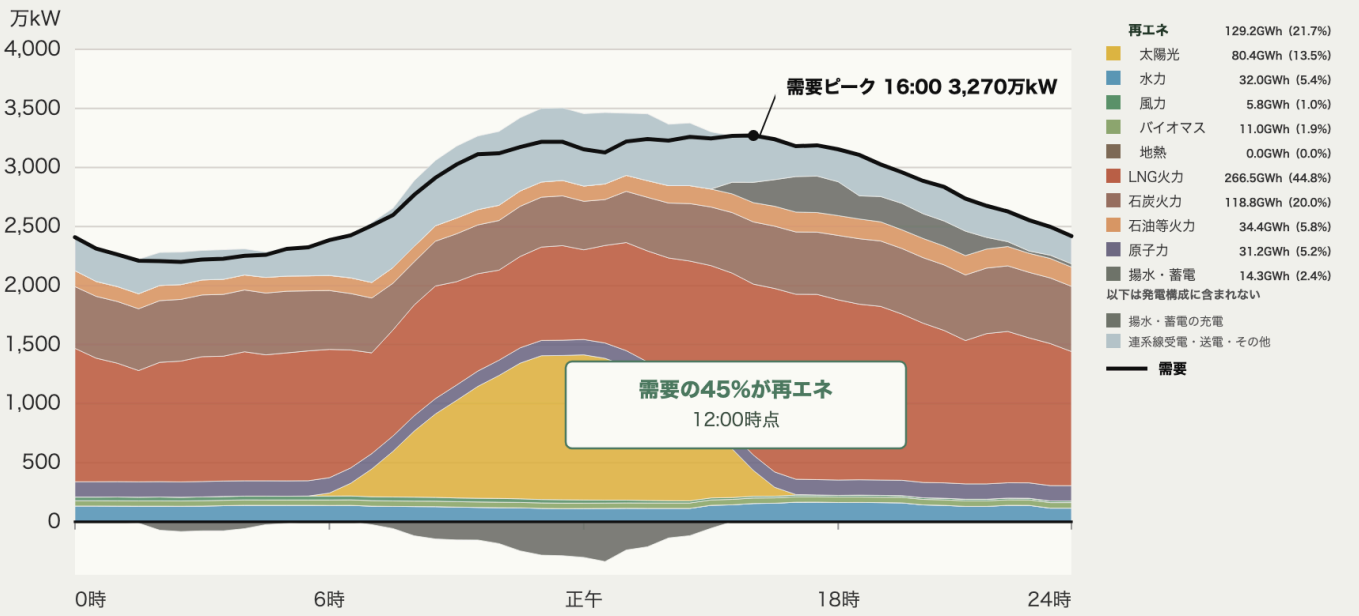
東北は、太陽光ピーク727万kW、風力ピーク126万kWで、時間別の再エネ最大需要比は103.8%だった。

2026年10月7日の供給実績

東京エリア

再エネ
129.2GWh
（発電電力量ベース21.7%）

東京エリア 2026年10月7日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
594.4GWh

需要ピーク
16:00、3,270万kW

連系線・その他
91.7GWhの受電

揚水・蓄電の充電
17.4GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

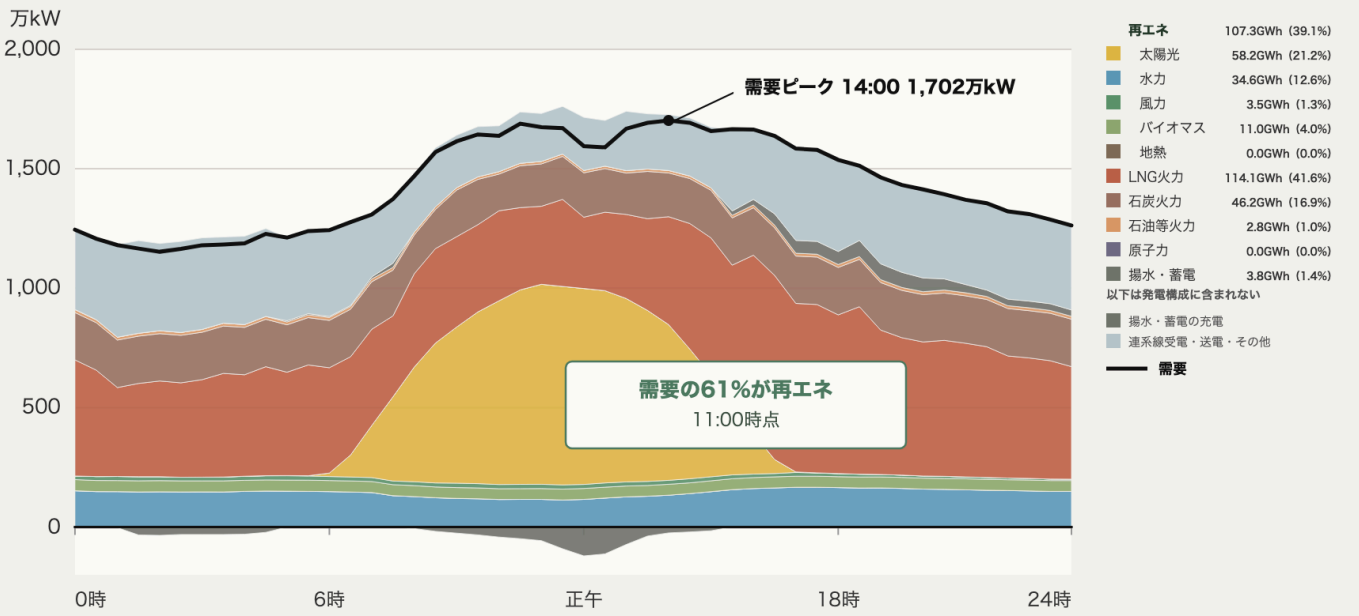
東京は、太陽光ピーク1,230万kW、風力ピーク34万kWで、時間別の再エネ最大需要比は44.8%だった。

2026年10月7日の供給実績

中部エリア

再エネ
107.3GWh
（発電電力量ベース39.1%）

中部エリア 2026年10月7日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
274.2GWh

需要ピーク
14:00、1,702万kW

連系線・その他
75.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電
4.7GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

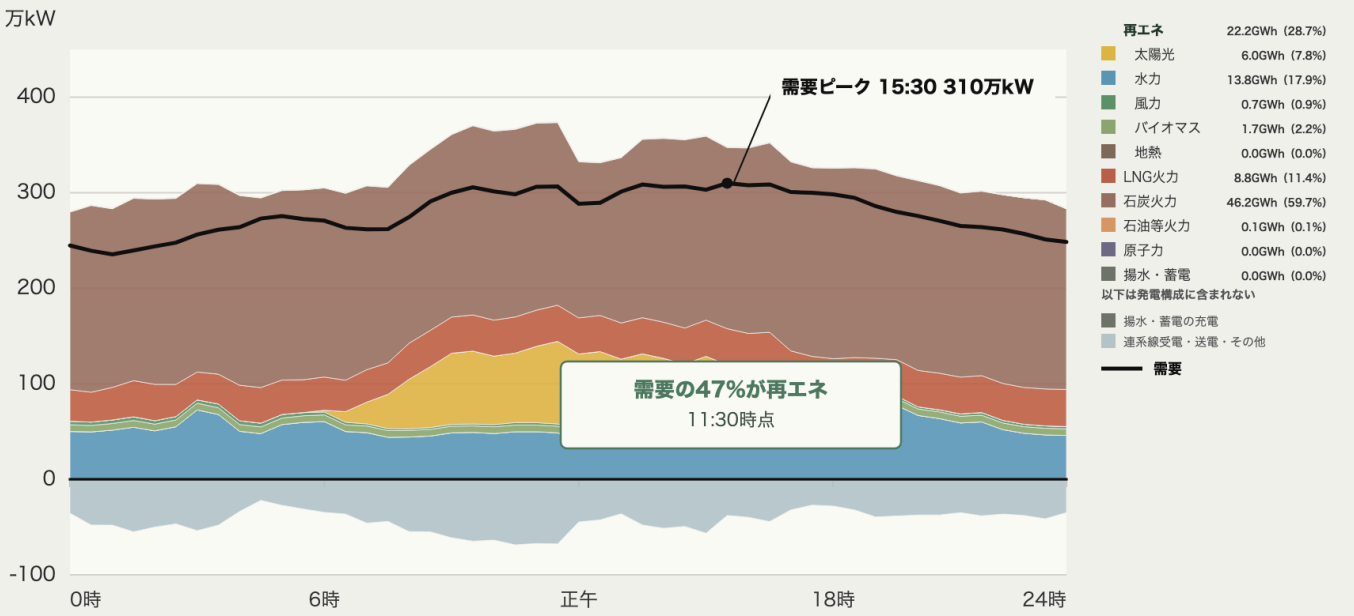
中部は、太陽光ピーク838万kW、風力ピーク18万kWで、時間別の再エネ最大需要比は62.6%だった。

2026年10月7日の供給実績

北陸エリア

再エネ
22.2GWh
（発電電力量ベース28.7%）

北陸エリア 2026年10月7日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
77.4GWh

需要ピーク
15:30、310万kW

連系線・その他
10.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

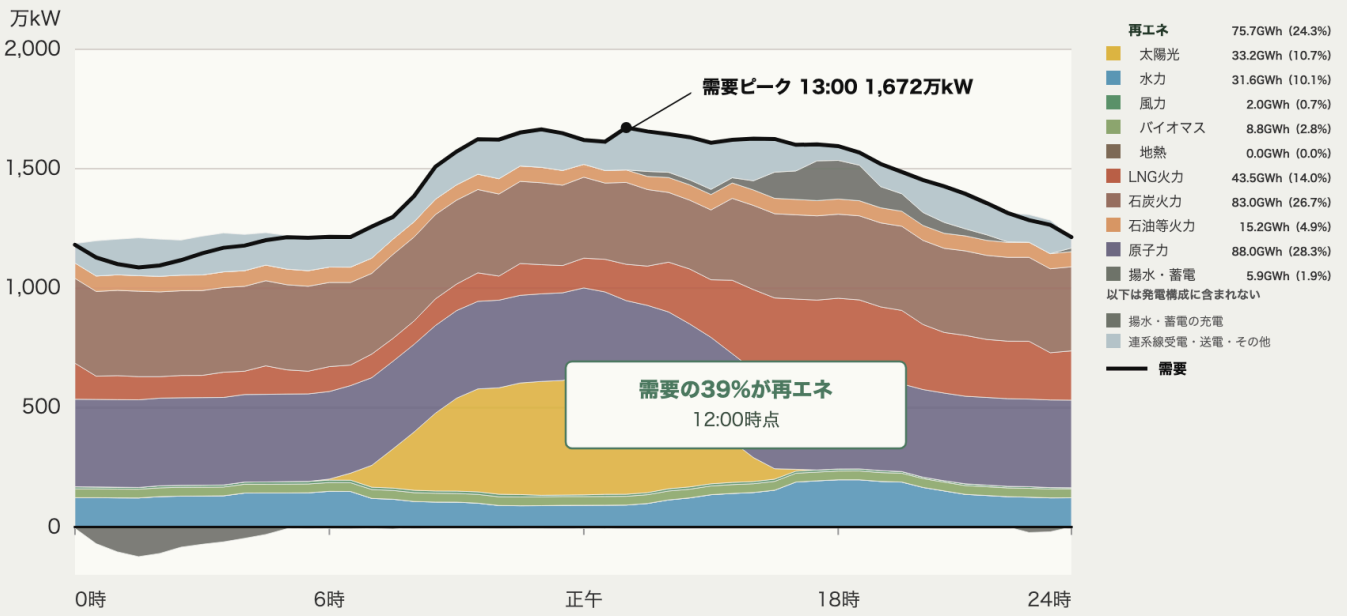
北陸は、太陽光ピーク86万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は47.1%だった。

2026年10月7日の供給実績

関西エリア

再エネ
75.7GWh
（発電電力量ベース24.3%）

関西エリア 2026年10月7日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
311.3GWh

需要ピーク
13:00、1,672万kW

連系線・その他
32.4GWhの受電

揚水・蓄電の充電
4.2GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

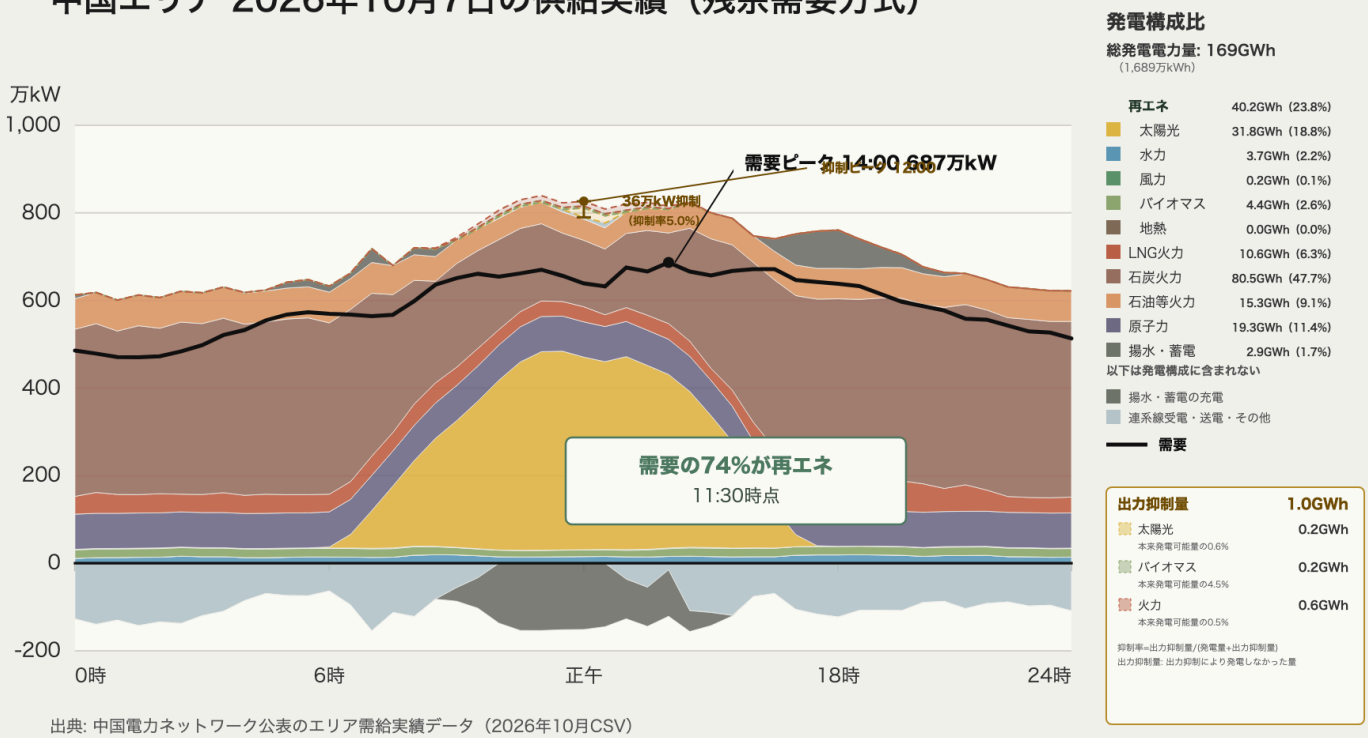
関西は、太陽光ピーク500万kW、風力ピーク11万kWで、時間別の再エネ最大需要比は39.2%だった。

2026年10月7日の供給実績

中国エリア

再エネ
40.2GWh
（発電電力量ベース23.8%）

中国エリア 2026年10月7日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
168.9GWh

需要ピーク
14:00、687万kW

連系線・その他
20.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電
6.8GWh

出力抑制
1.0GWh

概況

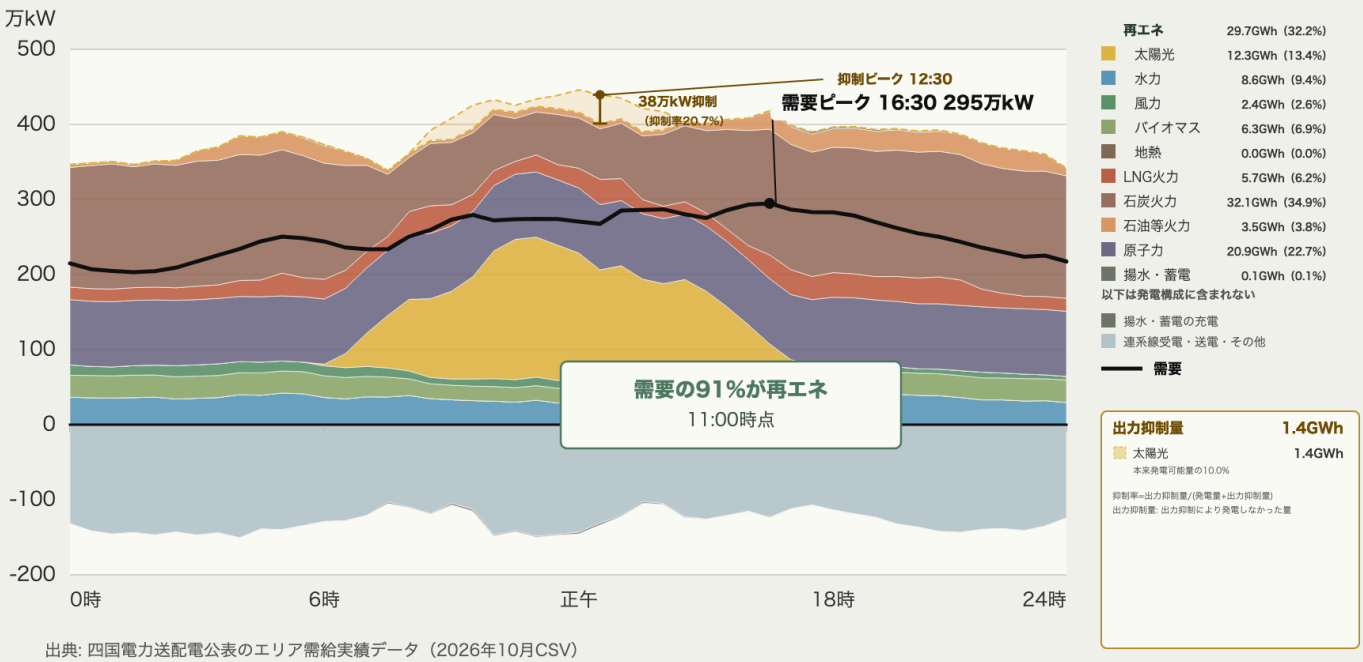
中国は、太陽光ピーク454万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は73.8%だった。

2026年10月7日の供給実績

四国エリア

再エネ
29.6GWh
（発電電力量ベース32.2%）

四国エリア 2026年10月7日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
92.0GWh

需要ピーク
16:30、295万kW

連系線・その他
31.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.1GWh

出力抑制
1.4GWh

概況

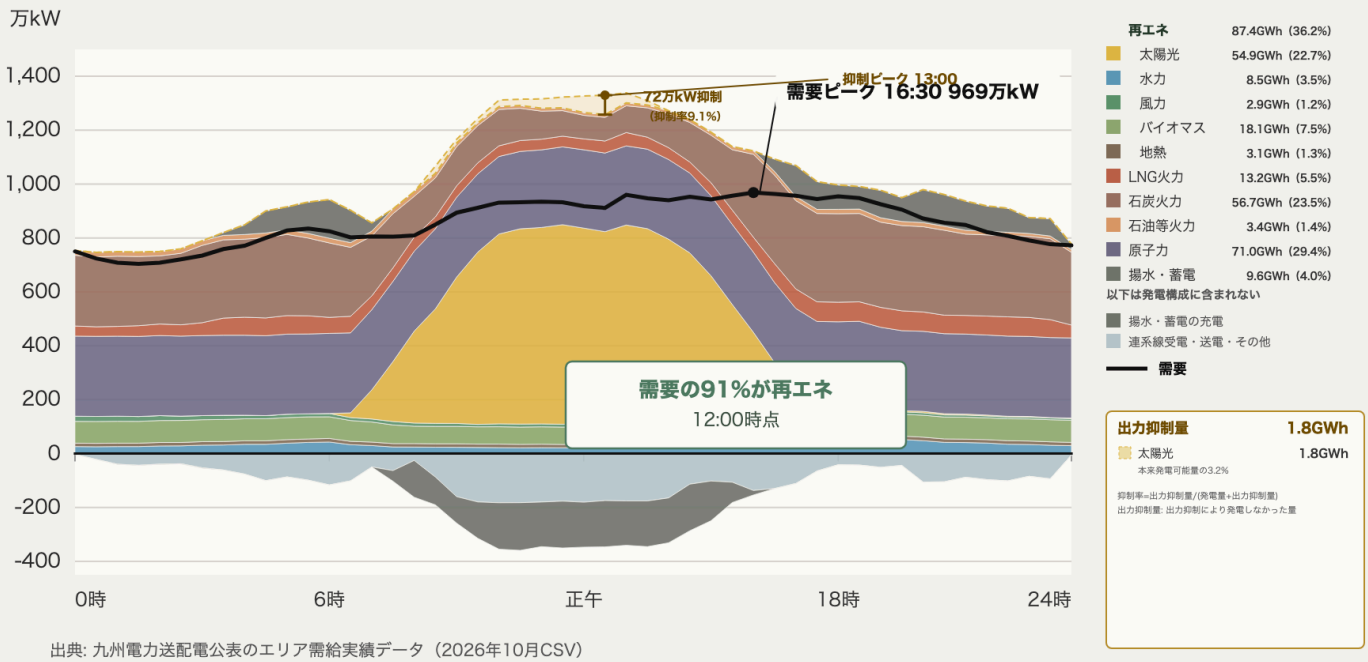
四国は、太陽光ピーク187万kW、風力ピーク16万kWで、時間別の再エネ最大需要比は91.1%だった。

2026年10月7日の供給実績

九州エリア

再エネ
87.4GWh
（発電電力量ベース36.2%）

九州エリア 2026年10月7日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
241.3GWh

需要ピーク
16:30、969万kW

連系線・その他
23.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電
12.3GWh

出力抑制
1.8GWh

概況

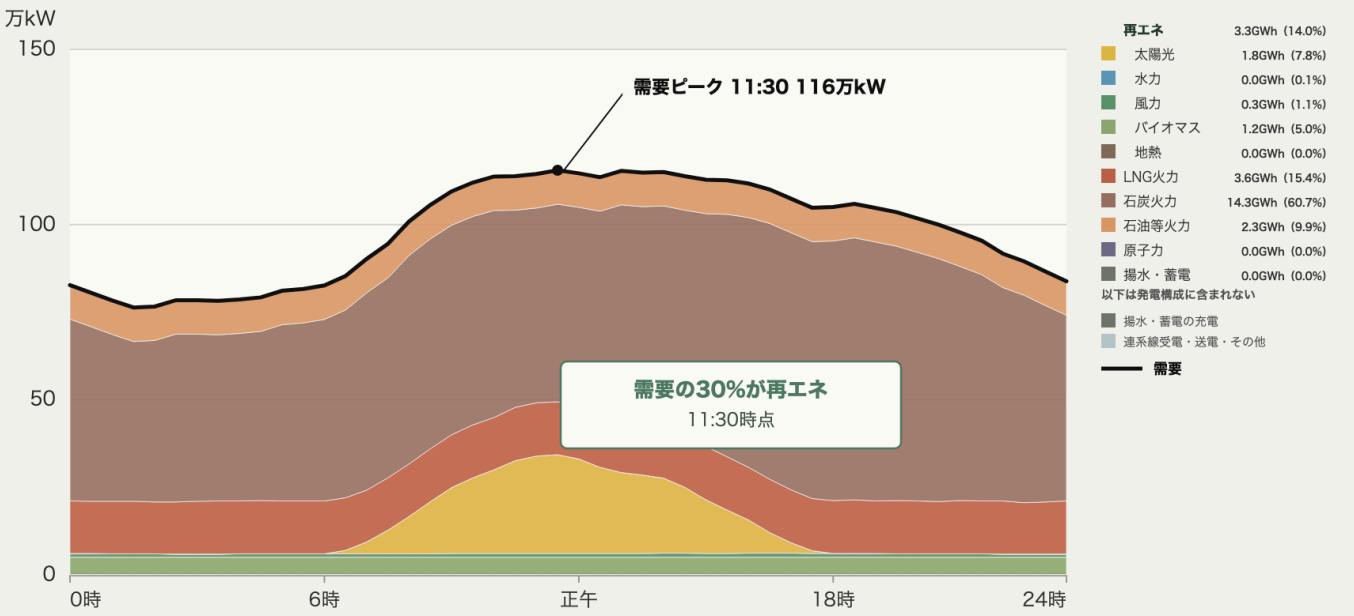
九州は、太陽光ピーク741万kW、風力ピーク19万kWで、時間別の再エネ最大需要比は91.2%だった。

2026年10月7日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
3.3GWh
（発電電力量ベース14.0%）

沖縄エリア 2026年10月7日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
23.5GWh

需要ピーク
11:30、116万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク28万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は29.7%だった。